

NPO法人 共に歩む市民の会

会 報

共に歩む市民の会広報委員会

通巻 第20号

〒 241-0022

横浜市旭区鶴ヶ峰 2-1-16

☎ 045-953-6727

2007年8月31日 発行



新理事長 田山裕文さんインタビュー



今年度、共に歩む市民の会の新理事長に就任した田山さんに今後の抱負を伺いました。前理事長の高野さんから力強いバトンを受け、当事者のたくさんの思いや希望の実現に熱がこもったインタビューとなりました。

●現在の所属と活動内容を教えてください。

○田山氏：地域作業所「むくどりの家」に参加しています。市民の会では、旭ぴあくらぶの世話をやっています。ぴあくらぶは、当事者の話し合いで決めていくスタイルで、僕はそのとりまとめです。

●理事長の大役を受けての今の心境を教えてください。

○田山氏：大任だなあというのが実感です。今日もメンバーから施設長より偉いの？といわれてしましました（笑）。

●以前、田山さんは共に歩む市民の会の代表をしていましたが、その時と比べていかがですか。

○田山氏：事業に対する把握をきちんとしないといけないので、どういう活動をしているのかきちんと見ていかないといけないと思っています。

●どんな市民の会にしていきたいですか。

○田山氏：当事者の声を生かしていきたいですね。また、第二のたまり場もつくっていきたい。

●最近の「ほっとぼっと」の現状はいかがですか。

○田山氏：来る人は決まっている人も多いですが、新しい人が来られたり、2年ぶりに来た人もいました。色々な人が参加している印象がします。

●自分自身、気をつけたい点はどこですか。

○田山氏：ストレスをためないようにして、睡眠時間を十分とるようにしています。体調管理が大切だと思います。

●自身の夢は何ですか。

○田山氏：作業所では、手織りの工房をつくりたいと思っています。市民の会では、やはり第二のたまり場の実現ですね。

●市民の会会員の皆様に一言。

○田山氏：当事者の声をもっと知りたいので、「ほっとぼっと」に来てもらいたい。こういうサービス、事業、企画があつてほしいという声を挙げていってください。

文責：旭福祉保健センター 森 輝幸

『第3回 共に歩む市民の会 総会』



6月30日、『第3回 共に歩む市民の会 総会』が開催されました。
まずは総会の報告と、参加された会員の方からの感想です。

2007年度 会員総会報告

佐久間 陽子（共に歩む市民の会）

6月30日（土）に旭公会堂会議室において第3回通常総会が開かれました。総合司会である団体会員神奈川病院スタッフの須藤さんより、正会員82名のうち出席者51名（委任状含）で定数を満たし総会成立が告げられました。

正会員村木さんが議長を務め、事務局スタッフより昨年度事業と決算報告。今年度事業計画および予算の説明がありそれぞれ可決されました。理事の選任については、高野さんから田山さんに理事長が交代されました。法人格を取得してから初めて当事者が代表に選任され、本会の当事者主体の基本姿勢が明確に打ち出されました。

議事録署名人は、新理事長田山さんと当日議長の村木さんとなり、総会は無事終了しました。

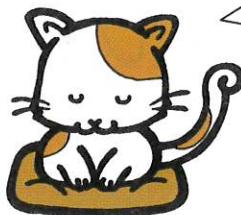
第3回「共に歩む市民の会」総会の感想

松元 紀子（共に歩む市民の会）

NPO法人「共に歩む市民の会」第3回総会に参加。「旭区ほっとぽっとの活動は先駆的です。サービス事業内容が多様な可能性を持っている。当事者・メンバーさんの主体性を尊重し、互いに力を出して助け合うといった考え方も特色です。」と来賓の方々からご挨拶をいただきました。

「任意団体として1997年誕生した共に歩む市民の会は今年10歳になります。当事者をはじめ沢山の応援をいただきつつ、夕食会・ピアサポート活動・電話相談・生活相談・体験発表（セミナー）・調査研究等々多様な事業を生み出しました。」と高野理事長の言葉を聞いて、10年という節目に、自分なりに想いを新たにいたしました。

ティータイムをはさみ、第二部は福祉行政の研修です。昨春の障害者自立支援法施行に伴い、今年4月行政の組織編制があったとの事で、大貫課長（障害福祉部障害支援課）が講師として来てくださいました。横浜市福祉施策概要のパンフレットは、小さい文字でびっしり書かれており、私には難しくそうは簡単に理解できそうにありません。「今年度は少し割り増しで障害者福祉予算をしっかりと確保した」との説明にまずは胸をなでおろしました。精神障害者グループホーム52に対して他の障害者グループホーム370との事。これ一つとっても、精神は厳しい状態にあるのだと痛感。ぴあくらぶやグループホームの世話人、作業所や家族等から矢継ぎ早の質問にメモを取りながら回答してくださいました課長さんの姿が印象的でした。今後の方向性を見つけるために学習の機会を与えてくださいり、ありがとうございました。



つづいて、「共に歩む市民の会」の立ち上げから法人としての軌道に乗るまで、当団体を牽引してきてくださった前理事長である高野静子さんからもごあいさつをいただきました。

3年間 ありがとうございました

高野 静子

2004年「共に歩む市民の会」が、NPO 法人化するにあたって、法人としての活動が軌道に乗るまでの間ということで理事長をお引き受けしました。理事長とは、何をする人なのかもわからないまま、また、NPO 法人とは、どんな組織運営をするのかもよく理解しないまま、同じ志をもった人たちが、同等に責任をも持って運営する組織であり、代表名が必要なときのための存在ぐらいにしか考えておりませんでした。それで、何とか3年間やってこれたのですから、理事の方々そして会員のみなさまの暖かいご支援と、見守りがあったからこそと、ただ感謝です。

今、振り返って思い出すことは、ほっとぽっと開設準備の間は、事務局で動ける人は、高橋成忠さんと私の二人だけで、NPO 法人の認可を受けるための申請に、県庁や法務省に高橋さんの後について出かけたこと、認証が下りたときは、本当にホッとしたのを思い出します。煩雑な事務手続きは、全部高橋さんがしてくださいり、最後の申請時のみ私が高橋さんの後からついていっただけなのですが・・・。本当に感謝です。

また、旭区地域生活支援拠点ほっとぽっと開設の折には、多くの方々からさまざまな形でご支援をいただきました。特にご家族の方々のご期待、ご支援は大きかったように感じております。ご支援くださった方々の思いを推し量るとき、その期待に応えるような活動になっているのか、身が引き締まる思いがいたします。

この度、私が理事長をお引き受けするときの約束どおり、当事者の田山さんに引き継ぐことができました。本当にほっとしております。今まで以上のお力添えと声かけをお願いいたします。ぜひ年1度位はほっとぽっとへお立ち寄りください、お茶でも召し上がりながら、活動へご参加してくださるととてもうれしいと思います。

三年間どうもありがとうございました。



高野さん、本当にお疲れさまでした。

高野さんには今後も理事として在任して頂きますので、こらからもよろしくお願いします！



ボランティアさん リレートーク!



『共に歩む市民の会』のボランティアの日頃の思いをつづるリレートーク。

前回の語らい電話のAさんからバトンを手渡されたのは・・・

第4回は語らい電話のWさんです。

私は、今年の春から始めた新人のリスナーです。実際に語らい電話をとるたび、人の話を聞く(傾聴)ことの難しさを感じています。

私も、悲しい時や苦しい時など自分の気持ちに潰されそうになります。でもこのような時、誰かに話せたらこの気持ちは半分になり、また反対に、うれしい時や楽しい時は2倍になります。皆さんのが、友達にも家族にも話せないことをリスナーを信じて本当の気持ちを話してくれることをうれしく思います。

電話という1本の線でつながっている一つ一つの出会いと、この時間をこれからも大切にしていきたい。お互い人間同士、共に感じ合えるぬくもりが、共に歩む市民の会の流れにつながっているように思います。

語らい電話 Wさんより

会員紹介



今年で9年目を迎えた『共に歩む市民の会』ですが、現在約100名の方々がこの会の活動に賛同し、会員となってくださっています。

そんな会員の皆様の素顔をちょっとずつご紹介していきたいと思います♪

第4回目はこちらの方です。

No.7:丹野 都美子さん

Q:所属は?

A:旭区地域生活支援拠点 ほっとぽつと

Q:どんなお仕事されていますか?

A:ほっとぽつと内でのあらゆる業務

(ランチ支援、相談、ニュース作り etc)

Q:(周りの人から)丹野さんてどんな人?

A:底抜けに明るい・あねご肌・明朗活発。とても

面白く、いつも笑顔

アバウトで面白い人・明るく楽しい人

No.8:星 貴朗さん

Q:所属は?

A:旭区地域生活支援拠点 ほっとぽつと

Q:どんなお仕事されていますか?

A:生活全般に関するお手伝いや、

ほっとぽつとの日曜大工さんです。

Q:(周りの人から)星さんてどんな人?

A:A型マメ人間でしっかりしてそうで

いい加減。オチャメな人です。

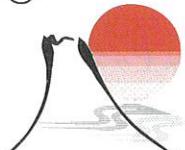
真面目に仕事ができる人。

女性に人気No.1の人気者。

明朗快活・オバちゃん顔

～事務局ニュース～

地域支援のパワーアップを ～ほっとぽつとの新しい取り組みご紹介～



今年度、ほっとぽつとでは退院促進支援事業と地域ふれあい事業、二つの新しい事業に取り組みます。

退院促進支援事業は長期入院を余儀なくされている人たちを地域に迎え入れていくための様々な支援を行うもので、横浜市の委託を受け2名の専任スタッフを置いて行います。市から打診があった時、「これだけ病院が多い旭区にあるほっとぽつとがこの事業に手を挙げないわけにはいかないね」と話し合い応募したところ、他に応募したところが少なく、委託を受けることになりました。

一方の地域ふれあい事業のほうはコンサート等の文化イベントやリサイクル・便利屋的な活動を通じて地域の方との日常的な交流をすすめます。旭区からの新たな助成金をもとに行います。

前者は関係機関との連携、後者は一般の方との交流が主という違いはあっても、障害をもちつつ暮らすためのつながりや仲間を少しづつ広げていくという意味で根っこは通じています。

どちらも大きなテーマで、ちょっとやったら成果があがるというものではもちろんありません。まだまだ3歳、今のほっとぽつとが仕事の巾を広げるのは正直しんどさもあります。でも、退院に向けた支援も地域との交流も人々求められている仕事であり、これまで少しづつ手がけてきています。今回は行政の位置づけのもとにスタッフを配置して取り組める利点があります。

どんな人でも地域で暮らしていけるために。そして、かかわる人間自身が元気になるような活動を・・・。精いっぱい背伸びしている幼子を、皆さんどうか暖かく見守り支えてやっていただけませんか。心よりお願い申し上げます。 (川田 剛)



◇◆◇◆【新規入会 ありがとうございます!】◆◆◇◆◆◆◆◆◆

*正会員(申し込み順) 7名

佐久間陽子さん・遠田晴子さん・岡田美佐さん・丹野都美子さん・星 貴朗さん・小澤由紀さん・和田公一さん

*賛助会員(申し込み順) 4名

曾我新吉さん・杉本紀久雄さん・三浦幸哉さん・阿部徹夫さん

◇◆◇◆【ご寄付 ありがとうございます!】◆◆◇◆◆◆◆◆◆

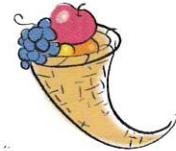
*4名

匿名・伊達和子さん・小澤清子さん・杉浦弘さん

市民の会 ほっとぽつと スケジュール 9~10月

* 気軽にご参加ください *

- ◇9月 13 (木) ~15 (土) 第1回ギャラリー「大好き展」 別館サロンほか
- ◇9月 14日 (金) 15時~17時 自立支援法勉強会 (市民の会主催) 別館
- ◇9月 26日 (水) 18時30分~ 幹事会 本館フリースペース
- ◇10月 11日 (木) 区内ソフトボール大会 (ふれあいスポーツ協議会主催) 保土ヶ谷公園
- ◇10月 28日 (日) 旭ふれあい区民まつり参加 (本館および前の公園・別館を予定)



◆ 会員の方へ 会費納入のお願い ◆

19年度の会費をまだ納めていない方は下記へお振込くださいようお願い致します。

郵便振替口座番号 00280-6-132476

加入者名 特定非営利活動法人 共に歩む市民の会



編集後記

✿以前、任意団体「共に歩む市民の会」代表を務めた田山裕文氏が、このたび新理事長に選ばれました。たまり場時代の鍵当番メイトだった私にとって感慨深いものがあります。どうぞ宜敷く
・・・・松元

✿色々なことを同時並行的にこなしていく力をもっと身につけたいと思う今日この頃です。それもスマートに。無理ですかね・・・森

✿新理事長の誕生、そして新規事業への取組みとほっとぽつの動向に目が離せませんね。夏バテしている暇の無いほっとぽつとに暑い応援を宜しく！・・・松迫

✿この暑さが電気やガソリンに変換できたら、すごいエコロジーなのに！早く誰か開発してくれないかなあ（暑くなさすぎる夏も不粋ですけど）・・・高木

～お詫び～
前号において松元さんにお書きいただいたセミナーの感想の後半4行、以前の文章を残してしまいました。この場をおかりしてお詫び申し上げます。